

社会資本総合整備計画(第8回変更)

持続可能な活力あるコンパクトシティ小諸の再構築

平成 30 年 3 月 14 日

長野県、小諸市

社会資本総合整備計画（市街地整備）

平成30年3月14日

計画の名称		持続可能な活力あるコンパクトシティ小諸の再構築										重点計画の該当		○											
計画の期間		平成25年度 ～ 平成29年度 （5年間）					交付対象		長野県、小諸市																
計画の目標																									
在来特急の停車駅であった小諸駅を中心とした中心市街地は、97年新幹線ルートから外れたことやモータリゼーションの進展に伴い、商業施設等の郊外移転が進んだため、空洞化が進み、都市としての求心力が低下している。一方で、中心市街地には古いまちなみなど歴史的資源も残されている。平成24年10月に、小諸市は市庁舎敷地一帯に、図書館、コミュニティスペース、市庁舎の機能を有した複合的な施設、安全・安心の拠点となる小諸厚生総合病院を配置しコンパクトシティの考え方でまちづくりを進める方針を示した。そして、低炭素化社会へと転換するとともに、地球温暖化の防止に貢献することを目的とし、「小諸市低炭素まちづくり計画」を策定した。 このような中、CO2排出量やエネルギー消費量が少ない集約型都市構造への転換を図るとともに、中心市街地の再構築、幹線道路や歩行空間の整備、歴史的資源の活用、街の回遊性の創造、賑わいの拠点や憩いの空間の形成を行い、持続可能で活力あるコンパクトシティ小諸の再構築を図ります。																									
計画の成果目標（定量的指標）																									
定量的指標の定義及び算定式		・ 整備計画区域の集約地域におけるCO2排出量を 33,235 tCO2/年（H24）を31,621 tCO2/年(H29)に減少 ・ 整備計画区域の都市公園におけるCO2直接吸収量を 30.6tCO2・年（H24）を31.5 tCO2・年(H29)に増加 ・ 相生町商店街の歩行者数の計を 810人（H24）を1,141人（H29）に増加																							
		定量的指標の現況値及び目標値										備考													
		当初現況値		中間目標値		最終目標値																			
		（H25当初）		（H27末）		（H29末）																			
		「低炭素まちづくり計画作成マニュアル」による「パーソントリップ調査データを用いた算定手法」におけるCO2排出量（集約都市開発事業計画）		33,235 tCO2/年		32,000 tCO2/年		31,621 tCO2/年																	
「低炭素まちづくり計画作成マニュアル」による「緑地の整備による算定手法」におけるCO2吸収量		30.6 tCO2/年		30.9 tCO2/年		31.5 tCO2/年																			
小諸商工会議所により行われる交通量調査に基づく値		810 人		1,000 人		1,141 人																			
全体事業費		合計 （A + B + C + D）		3,791.0 百万円		A		3,730.0 百万円		B		0 百万円		C		3.2 百万円		D		57.8 百万円		効果促進事業費の割合 C / （A + B + C）		0.1%	
交付対象事業																									
A1 基幹事業																									
番号		事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 （事業箇所）			事業内容 （延長・面積等）			市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考			
1-A-1		都市再生	一般	小諸市	直接	小諸市	小諸宿周辺地区都市再生整備計画事業			区域面積：54ha 道路、公園、地域生活基盤施設、高 質空間形成施設、高次都市施設、都 市再構築戦略事業、街なみ環境整備 事業			小諸市	H25 H26 H27 H28 H29					3,730.0			別添 1			
															合計					3,730.0					
B 関連社会資本整備事業																									
番号		事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名			事業内容 （延長・面積等）			市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考			
															合計					0.0					
番号		一体的に実施することにより期待される効果																							
C 効果促進事業																									
番号		事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名			事業内容			市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考					
1-C-1		調査	一般	小諸市	直接	小諸市	駅周辺調査事業			小諸駅周辺調査			小諸市	H25 H26 H27 H28 H29					0.9						
1-C-2		調査	一般	小諸市	直接	小諸市	都市機能施設等評価分析			都市機能施設等評価分析			小諸市	H25 H26 H27 H28 H29					2.3						
															合計					3.2					
番号		一体的に実施することにより期待される効果																							
1-C-1		都市再生整備（1-A-1）の中心市街地の活性化に向けて駅周辺の現況等の調査、計画検討を行うことにより、小諸駅を中心とした市街地のさらなる利便性の向上、魅力の向上を図る。																							
1-C-2		都市再生整備（1-A-1）と一体的に実施することにより、都市機能施設等の整備への効果が実現できる。																							

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H25	H26	H27	H28	H29		
1-D-1	地籍整備	一般	長野県	間接	小諸市	地籍調査(中央6区)	面積 0.19km ²	小諸市						2.0	
1-D-2	地籍整備	一般	長野県	間接	小諸市	地籍調査(中央7区)	面積 0.22km ²	小諸市						24.8	
1-D-3	地籍整備	一般	長野県	間接	小諸市	地籍調査(中央8区)	面積 0.37km ²	小諸市						31.0	
合計													57.8		
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
1-D-1	都市再生整備(1-A-1)に先行して、土地の権利関係を明確にすることにより、事業の円滑な実施を図る。														
1-D-2	都市再生整備(1-A-1)に先行して、土地の権利関係を明確にすることにより、事業の円滑な実施を図る。														
1-D-3	都市再生整備(1-A-1)に先行して、土地の権利関係を明確にすることにより、事業の円滑な実施を図る。														

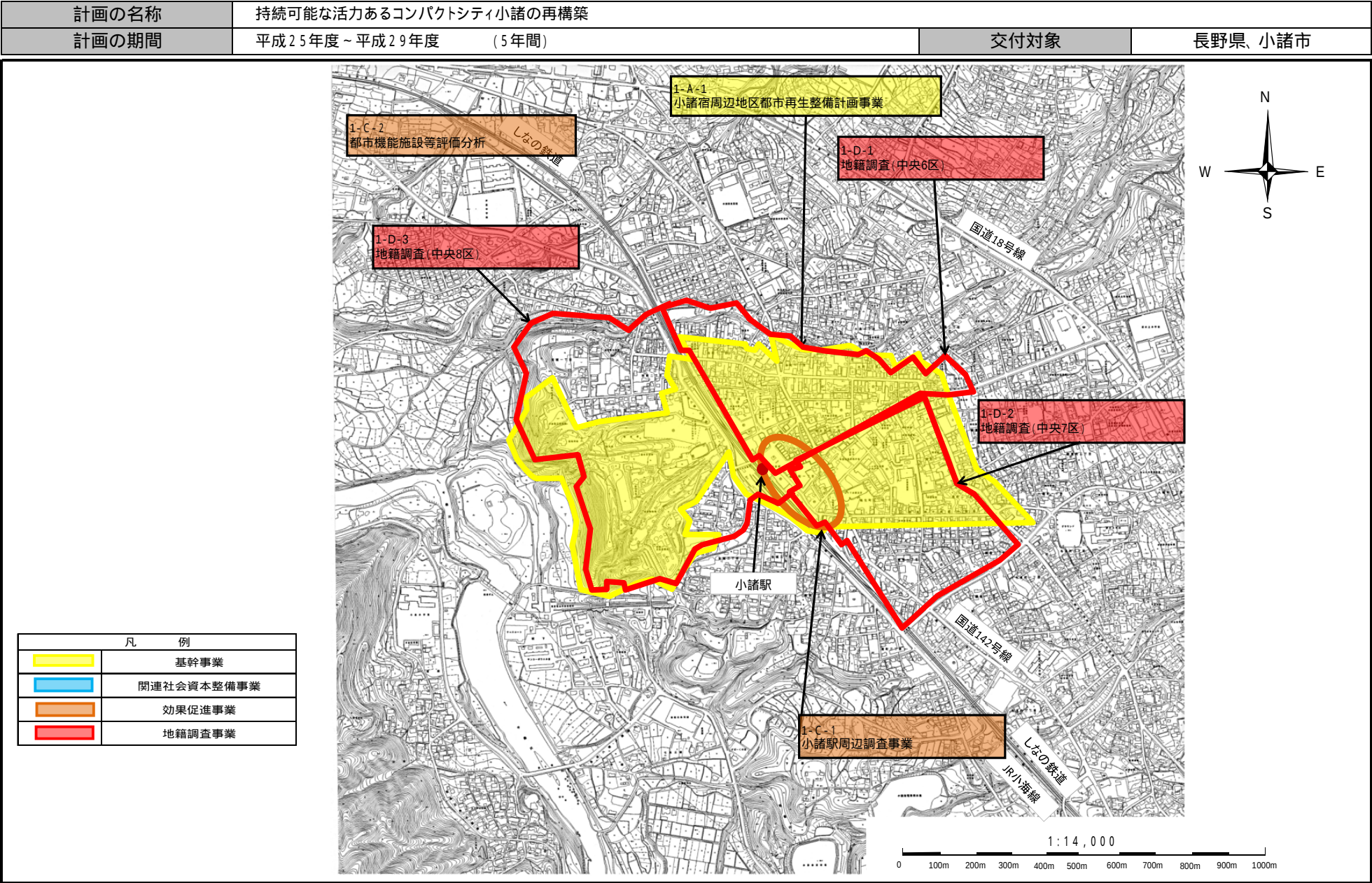
交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H26	H27	H28	H29	
配分額 (a)	220.985	366.000	499.400	8.700	
計画別流用 増減額 (b)	0.000	0.000	48.812	0.000	
交付額 (c=a+b)	220.985	366.000	450.588	8.700	
前年度からの繰越額 (d)	742.264	179.955	74.022	436.199	
支払済額 (e)	783.294	471.933	88.411	442.299	
翌年度繰越額 (f)	179.955	74.022	436.199	2.600	
うち未契約繰越額 (g)	6.980	1.300	0.000	0.000	
不用額 (h = c+d-e-f)	0.000	0.000	0.000	0.000	
未契約繰越 + 不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.7%	0.2%	0.0%	0.0%	
未契約繰越 + 不用率が10%を超えている場合その理由	-	-	-	-	

平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

(参考図面)市街地整備



都市再生整備計画(第6回変更)

こ も ろ じ ゅ く し ゅ う へ ん
小諸宿周辺地区
(都市再構築戦略事業(人口密度維持タイプ))

な が の 長野県 こ も ろ 小諸市

平成30年3月

様式1 目標及び計画期間

都道府県名	長野県	市町村名	小諸市	地区名	小諸宿周辺地区(都市再構築戦略事業)	面積	54	ha
計画期間	平成25年度～平成29年度	交付期間	平成25年度～平成29年度					

目標 大目標 『持続可能な活力あるコンパクトシティ小諸の再構築』 小目標 都市機能集約による省エネルギー化の推進 小目標 緑化の保全推進 小目標 中心市街地の魅力の再生
目標設定の根拠 都市全体のリノベーション方針(都市構造再編を図るため、都市機能の拡散を防止する等の公的不動産のマネジメントも取り組みを含む) 在来特急の停車駅であった小諸駅は、97年新幹線ルートから外れたことやモータリゼーションの進展に伴い、商業施設等の郊外移転が進んだため、小諸駅を中心とした中心市街地では空洞化が進み、都市としての求心力も低下している。一方で、中心市街地には古いまちなみなど歴史的資源も残されている。こうしたことから、小諸駅を中心とした中心市街地を「中心拠点区域」に位置づけ、老朽化した公共建物の更新を契機として、市庁舎敷地の一部を小諸厚生総合病院の再構築移転場所として提供し、公共、公益サービスと医療機能を確保し、駐車場等の整備を行い都市機能の集積を図る。そして、市庁舎敷地周辺の整備や歴史的資源を活用することにより中心市街地の魅力を再生させる。 公的不動産の活用策として、市庁舎敷地を活用して小諸厚生総合病院の再構築場所とするなど、民間と協働した都市機能の集約を図ると共に、老朽化した庁舎、図書館、交流施設等を集約立地し、都市機能の集約を行う。また、低未利用地の緑地等への転換を図り、都市機能の拡散を抑制し、環境整備を図るため公共不動産の有効活用を図る。 医療施設、教育文化施設及び公共施設など日常生活に必要な都市機能が集約されたコンパクトシティの考え方で中心拠点区域の再構築を行うことにより、持続可能なまちづくりを再構築するとともに、自家用車の利用など移動に伴って排出される二酸化炭素を削減し低炭素化を進める。また、老朽建築物を省エネルギー性能が高く、耐震にも優れ、災害に強い建築物へ集約立地を行うことにより、低炭素化を進めるとともに、安全・安心なまちづくりの再構築を図る。
まちづくりの経緯及び現況 ・在来特急の停車駅であった小諸駅を中心とした市街地は、新幹線ルートから外れたことやモータリゼーションの進展に伴い、DID人口が減少し、都市の郊外化や空洞化が進んでいる。小諸市役所、会議室機能を有する市民会館及び小諸市立図書館は築50年ほどが経過し老朽化が著しく、耐震基準も満たされていない。また、小諸厚生総合病院も老朽化が著しく、延べ床面積20,000㎡のうち、10,000㎡は耐震基準を満たしていない。こうしたことから、老朽建物の更新を契機として、平成24年10月に小諸市は市庁舎敷地一帯に、図書館、コミュニティスペース、市庁舎の機能を有した複合的な施設、安全・安心の拠点となる小諸厚生総合病院を配置しコンパクトシティの考え方でまちづくりを進める方針を示した。そして、低炭素化社会へと転換するとともに、地球温暖化の防止に貢献することを目的とし、「小諸市低炭素まちづくり計画」を策定した。 ・現在、小諸市では中心市街地に点在する歴史的資源を生かし、休息、交流等の機能を創出し、緑の保全及び緑化の推進を図るため大手門公園、あいおい公園等の公園緑地の拡充が望まれている。 ・駐車施設を集約し、交通が整理され、街なかでの移動の利便性向上を図り、歩いて楽しめる中心市街地の整備が望まれている。また、中心市街地に点在する歴史的景観を生かし、街の回遊性の向上、休息、交流等の空間創出を求められている。
課題 ・DID人口が減少し、郊外化や空洞化が進む中心市街地において、職場、商業施設、医療施設、福祉施設、教育文化施設、及び公共交通機関など日常生活に必要な都市機能が集約されたコンパクトシティの考え方によるまちづくりを行い、自家用車の利用など移動に伴って排出される二酸化炭素を削減し低炭素化を進めることが望まれている。また、老朽建築物を省エネルギー性能が高く、耐震にも優れ、災害に強い建築物へ建て替え、低炭素化を進めるとともに、安全・安心なまちづくりの形成が望まれている。 ・都市の緑地は、さまざまな機能(良好な景観の形成、地域住民の健全な生活環境の確保、防災性の向上、生物の生息、大気浄化)を有しており、二酸化炭素の吸収源となることから、積極的な緑地の保全及び推進が望まれている。 ・路上駐車や各建築物に設置された駐車施設に向かう自動車によって、交通渋滞が発生しているため、駐車施設を集約し、交通が整理され、街なかでの移動の利便性向上を図り、歩いて楽しめる中心市街地の再生が求められている。 ・平成24年2月 こもろ・まちづくり市民意識調査(小諸市総務部企画課実施)において駅・大手門周辺の整備については、地元の方や専門家、NPOのご協力をいただきながらもっと進めるべきとの回答が約半数を占めた。自由記述の主だった回答として、「小諸駅周辺・懐古園の活性化に向け、従来とは異なる有効な具体策を、予算をかけずに講じてほしい。」、「公共施設が分散しており、非常に交通の便が悪いので改善してほしい。」、「もっと便利な図書館を整備してほしい。」との意見をいただいている。
将来ビジョン(中長期) 「小諸市総合計画」(平成21年1月)において、「安全で安心なくらしやすいまちづくり」の基本構想のもと、施策として「コンパクトシティの形成を進める」と掲げられている。 「小諸市都市計画マスタープラン(平成12年3月)」において、本整備計画区域である中心市街地地区は、「歴史文化資源を活かし、快適で魅力ある都市中心交流まちづくり」の将来像を掲げている。 「小諸市中心市街地活性化基本計画(平成12年3月)」では、空洞化が進行している中心市街地対策のため、中心市街地の都市基盤整備と商業等の活性化の一体的な推進により、活力にあふれた中心市街地の形成を構築すると示されている。 「小諸市低炭素まちづくり計画(平成25年3月)」において、自然環境との調和を保ちつつ、省資源、省エネルギー型の社会システムの中でだれもが快適で心豊かな暮らしを続けていくことができるような、持続可能な低炭素社会を実現するとしている。

都市再構築戦略事業の計画							
都市機能配置の考え方 ・小諸市街地は、交通の要衝という立地条件により、古くから人・物・情報等の交流が盛んに行われ、商業をはじめとする産業や文化等が発達・集積した経緯から、鉄道駅やバスターミナルといった公共交通の結節機能、商店街、市庁舎、図書館、市民ホール等の公共公益機能をもとより有しているところであるが、市庁舎、図書館等の老朽建物の更新や小諸厚生総合病院の再構築計画を契機として、安全・安心で持続可能なまちづくりを実現するため、都市機能の集積を図る。							
目標を達成する上で必要な「中心拠点誘導施設」「生活拠点誘導施設」「高齢者交流拠点誘導施設」の考え方（民間事業者による事業継続の見込みや民間事業に対する行政の支援等を含む） 中心市街地に「中心拠点区域」を設定し、区域内にある市立病院跡地及び隣接する私有の低未利用地を活用し、商業機能と市立図書館の移転を前提とした官民複合施設を整備する。民間事業者に対しては、市有地について定期借地権、適用可能な補助事業の活用等により事業計画の向上の支援を行う。 また、同区域内の古いまちなみの一角にある、廃業した老舗旅館について、民間事業者による旅館建物等の再生事業と連携し、高次都市施設（観光交流センター）を整備することで、歴史的資源を活用した魅力の向上に寄与する。 既成市街地外縁部の地域については、バスによる中心市街地へのアクセス性を考慮して「生活拠点区域」を設定し、バス利用者の利便性を増進するための歩道・駐輪場等の周辺環境整備と並んで地域の日常生活を支えるコミュニティ施設等を整備する。							
都市再構築戦略事業に必要なその他の交付対象事業等 リノベーション施設へのアクセスの向上を図るため周辺市道の整備を行う。また、コミュニティセンターの整備を行いリノベーション施設との相乗効果により中心拠点区域内の交流機能を高める。さらに、あいおい公園等の公園整備、相生町地区整備、観光サイン整備、相生町地区修景施設整備等の環境整備を行うことにより、都市機能の拡散を抑制し、都市機能の集約を促進させ、魅力ある中止拠点区域の実現を目指す。							

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
整備計画区域の集約地域におけるCO2排出量	tCO2/年	「低炭素まちづくり計画作成マニュアル」による「パーソナトリップ調査データを用いた算定手法」におけるCO2排出量（集約都市開発事業計画認定計算シート）	都市機能を集約することにより自家用車等の利用など移動に伴って排出されるCO2を削減し、省エネルギー化を推進する。	33,235	H24	31,621	H29
整備計画区域の都市公園におけるCO2直接吸収量	tCO2/年	「低炭素まちづくり計画作成マニュアル」による「緑地の整備によるCO2の吸収量の算定手法」におけるCO2吸収量	公園整備を行うことによりCO2の直接吸収源を増やし、緑化の保全及び推進を行う。	30.6	H24	31.5	H29
相生町商店街の歩行者数の計	人/日	小諸商工会議所により行われる交通量調査に基づく値	市役所敷地周辺整備に伴う都市機能の集約化や相生町通りの整備を実施し、年々減少している歩行者数に歯止めをかけ、第2期都市再生整備計画工事着手時の歩行者数以上を目指す。	810	H24	1,141	H29

様式2 整備方針等

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
1.都市機能集約による省エネルギー化の推進		【基幹事業】 地域生活基盤施設(都市再構築戦略事業):中央西側駐車場 地域生活基盤施設(都市再構築戦略事業):赤坂駐車場 高次都市施設(都市再構築戦略事業):コミュニティセンター 中心拠点誘導施設:図書館 中心拠点誘導施設:小諸厚生総合病院 【関連事業】 小諸商工会議所会館負担金事業:小諸市 小諸市庁舎整備事業:小諸市 小諸厚生総合病院負担金事業:小諸市
2.緑化の保全・推進		【基幹事業】 公園(都市再構築戦略事業):大手門公園 公園(都市再構築戦略事業):あいおい公園 地域生活基盤施設(都市再構築戦略事業):南庭エントランス広場 高質空間形成施設(都市再構築戦略事業):観光サイン整備事業
3.中心市街地の魅力の再生		【基幹事業】 道路(都市再構築戦略事業):市道1013号線 道路(都市再構築戦略事業):市道1001号線 公園(都市再構築戦略事業):大手門公園 公園(都市再構築戦略事業):あいおい公園 地域生活基盤施設(都市再構築戦略事業):南庭エントランス広場 地域生活基盤施設(都市再構築戦略事業):中央西側駐車場 地域生活基盤施設(都市再構築戦略事業):赤坂駐車場 高質空間形成施設(都市再構築戦略事業):相生町地区整備 高質空間形成施設(都市再構築戦略事業):観光サイン整備 高次都市施設(都市再構築戦略事業):コミュニティセンター 中心拠点誘導施設:図書館 中心拠点誘導施設:小諸厚生総合病院 街なみ環境整備事業(都市再構築戦略事業):街なみ整備助成事業 【関連事業】 電線類地中化事業:長野県 市道1015号線道路改良事業:小諸市 市役所駐車場進入路事業:小諸市
事業実施における特記事項		
○継続的なまちづくり ・当地域では、本町区、荒町区、与良区、大手区、相生町区、市町区でまちづくり推進協議会が設立されており、イベント開催などの活動のほか、本町区、荒町区、与良区ではそれぞれ「北国街道ほんまち屋館」「北国街道荒町館」「北国街道与良館」の管理・運営を行っている。また、一期・二期まちづくり交付金で実施している「大手門公園」については、意見だけでなく自らが活動しようと成立されたNPO法人「こもろの杜」に指定管理者として、平成21年4月から管理委託を行っている。さらに、まちづくりの推進を活動目的とした特定非営利活動団体が設立されており、NPO法人「こもろ町並み研究会」は、「小諸の豊かな資源を保全、活用して住みよいまちづくり、自慢できる美しいまちづくり、にぎわいのあるまちづくり」を活動に位置付けている。「こもろ情報ひろば」では(1)地域資源の調査研究 (2)地域資源を情報として活用するための整備(広報・情報整備) (3)地域資源の開発、育成(地域資源発展・市民コミュニティ醸成・パートナーシップ及びネットワークの形成)を活動内容に掲げて、情報の発信やイベントの開催など活発な活動が継続する見通しである。		
○交付期間中の計画の管理について ・交付期間中において各種の事業を円滑に進め、目標に向けて確実な効果をあげるために、行政とまちづくり協議会等の住民代表が協働して、定期的に事業の成果や進め方について話し合い、計画の管理を行うための会合を開催する。		

様式3 目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項

交付対象事業費		3,730.0	交付限度額		1,865.0	国費率		0.5	(金額の単位は百万円)						
基幹事業															
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直 / 間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分		交付対象 事業費	費用便益比 B / C
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分		
道路(都市再構築戦略事業)		市道1013号線	小諸市	直	L=97m	25	27	25	27	19.9	19.9	19.9		19.9	-
"		市道1001号線	小諸市	直	L=121m	25	28	25	28	35.0	35.0	35.0		35.0	-
公園(都市再構築戦略事業)		大手門公園	小諸市	直	A=0.66ha	18	29	25	29	768.7	229.7	229.7		229.7	-
"		あいおい公園	小諸市	直	A=0.19ha	23	27	25	27	460.9	190.6	190.6		190.6	-
古都及び緑地保全事業															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設(都市再構築戦略事業)		南庭エトランス広場	小諸市	直	A=376㎡	21	28	27	28	81.2	9.5	9.5		9.5	-
"		中央西側駐車場	小諸市	直	163台	25	27	25	27	808.8	808.8	808.8		202.2	-
"		赤坂駐車場	小諸市	直	63台	25	26	25	26	223.6	223.6	223.6		55.9	-
高質空間形成施設(都市再構築戦略事業)		相生町地区整備	小諸市	直	L=239m	22	29	25	29	83.4	36.4	36.4		36.4	-
"		観光サイン整備	小諸市	直	案内板4基	27	29	27	29	1.5	1.5	1.5		1.5	-
高次都市施設(都市再構築戦略事業)		コミュニティセンター	小諸市	直	A=1,913㎡	25	27	25	27	761.4	761.4	761.4		761.4	-
中心拠点誘導施設		図書館	小諸市	直	A=3,117㎡	25	27	25	27	1158.9	1158.9	1158.9		1158.9	-
"		小諸厚生総合病院	長野県厚生連	間	A=22,500㎡	27	29	27	29	6276.0	6276.0	3000.0	3276.0	993.0	-
生活拠点誘導施設															
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
地区再開発事業															
バリアフリー環境整備促進事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地 総合整備 事業	拠点開発型														
	沿道等整備型														
	密集住宅市街地整備型														
	耐震改修促進型														
街なみ環境整備事業(都市再構築戦略事業)		街なみ整備助成(相生町地区修景施設整備)	小諸市	間	助成事業44件	22	27	25	27	95.0	54.0	36.0	18.0	36.0	
住宅地区改良事業等															
都心共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
合計										10774.3	9805.3	6511.3	3294.0	3730.0	-
提案事業(継続地区の場合のみ記載)															
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直 / 間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分		交付対象 事業費	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分		
地域創造 支援事業															
事業活用調 査															
まちづくり活 動推進事業															
合計										0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
													合計(A+B)	3730.0	...B

[illegible]

都市再生整備計画の区域

小諸宿周辺地区(長野県小諸市)	面積	54 ha	区域	相生町一丁目の全部・二丁目の全部・三丁目の全部、大手一丁目の全部・二丁目の全部、本町一丁目の一部・二丁目の全部・三丁目の全部、荒町一丁目の一部・二丁目の一部、赤坂一丁目の一部、市町一丁目の一部、紺屋町一丁目の一部、八幡町一丁目の一部、古城一丁目の一部・二丁目の一部、丁の一部
-----------------	----	-------	----	---

